

流通BMS ≡ セキュリティの必然性



GM0グローバルサイン 株式会社
法人営業部
佐藤 浩文

GMOグローバルサインの プロフィール

日本国内に本社機能を
有し、
世界展開する唯一の
認証局企業

- 1996年、ベルギー王国政府が設立
- 2007年に日本本社、ベルギー、ロンドン、ボストン、上海
- 発行実績は
SSL証明書を10万枚以上、電子証明書を140万枚以上
グローバルサイン・ルート認証局は2,000万枚以上
- 日本国内のSSLサーバ証明書シェアは第2位
- 2008年6月より世界初、SHA-2テスト証明書提供
- 2008年8月より「流通BMS」の証明書を発行開始
- 2008年11月よりヤフー株式会社（Yahoo! JAPAN）様と、
Webサイトの実在認証の「企業実在認証サービス」開始
- テクノロジー企業成長率ランキング【デロイトトウシュトーマツ】
「2008年アジア太平洋地域テクノロジー - Fast500」、
「デロイトトウシュトーマツ 日本テクノロジー - Fast50」
＊3年連続受賞（10社のみ）

1.流通BMSの恩恵

番号	テーマ	現状の課題	流通BMSによるメリット
①	処理速度の克服と漢字の取扱い。	JCA手順の通信速度が2400bpsと遅い。漢字が扱えない。	インターネットの通信が速く全体の処理時間は、約1/25となっている。漢字が扱える。
②	統一フォーマット	小売毎にデータフォーマットが異なり、卸し・メーカーは取引先毎の個別開発と個別の維持管理が必要になり費用増。	業界標準の統一フォーマット。従って、卸し・メーカーは、小売毎のフォーマットが必要なく、余分な個別対応が発生しないため、大幅なコストダウンが図れる。
③	業務効率化	伝票レス、検品レスがなかなか実現できず、業務改善がままならない。	伝票レス、検品レスなどの業務の運用も標準化され、業務改善が可能となる。流通BMSの標準化により「仕入税額控除適用」。
④	国際標準化	国内仕様のため、海外での適用が難しい。	国際標準化団体GS1の「BMS」がベース。
⑤	手動操作	WebEDIはファイル転送などの手動操作がある。不便さがある。	Push型プロトコル（ebXML、MS、AS2）、Pull型プロトコル（JX）があり、目的に合わせて利用可能。従って、手動操作を限りなく、なくす事が可能となっている。

2.インターネットセキュリティ（構成要素別）

分類	守秘性	可用性	完全性	否認防止性	（適及） 説明可能性	真正性
オープン ネットワー ク（イン ターネッ ト）との接 合部分	ファイアーウォール				ファイアー ウォール	
	ウイルス対策/ スパイウェア対策					
	スパム メール対策					
	不正侵入検知					
	Webコンテ ンツフィル タリング				不正侵入 検知	フィッシン グ対策
	電子メールフィルタリング					
	電子証明 書(認証) 関連		電子証明 書(認証) 関連			電子証明 書(認証) 関連
内部ネッ トワーク	アクセスコ ントロール				アクセスコ ントロール	
	ワンタイム パスワード				ワンタイム パスワード	
	電子証明 書(認証) 関連			電子証明 書(認証) 関連	電子証明 書(認証) 関連	
サーバ （ホスト） マシン	暗号系					
	ウイルス対策/ スパイウェア対策				フォレン ジックス	
クライア ントPC	暗号系				フォレン ジックス	
	ウイルス対策/ スパイウェア対策					フォレン ジックス
（外部か らの取り 込み） データ	電子証明 書(認証) 関連		電子証明書(認証)関連			電子証明 書(認証) 関連
内部生成 データ						

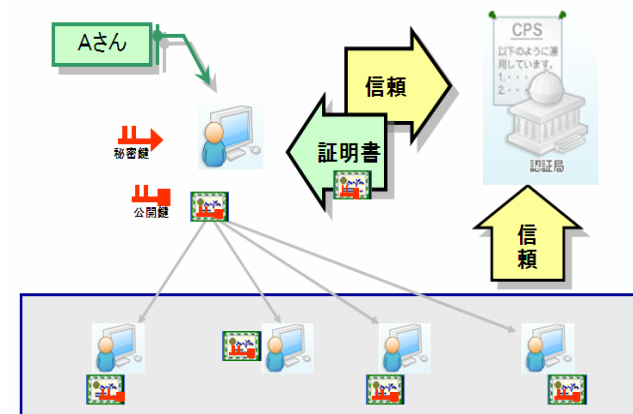
3.流通BMSのセキュリティの注意点

- まず、一番大切なのは、素のままのインターネットを利用する場合は、すくなくとも通信とユーザアカウントの有り方について考慮すべきである。

3-1. 通信に必要な事は

- インターネットは素の状態である。すなわち、素のまま
でデータが送信されたため、第三者に傍受される危険がある。

たとえば、クレジットカード番号、企業情報（個人情報）を取り扱う際には、「傍受」、「改ざん」、「フィッシング」、「なりすまし」を防ぐために、認定された第三者が発行するSSL（SSLサーバ証明書）を使うことが一般的である。

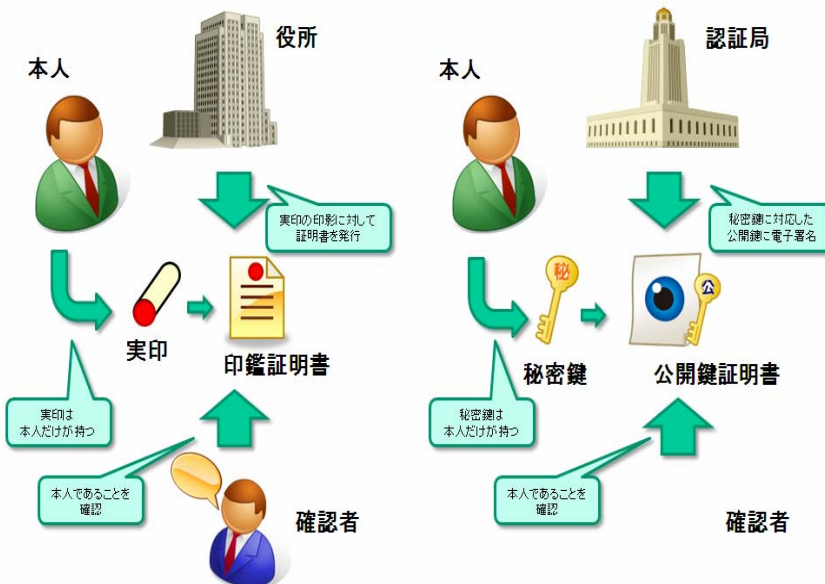


「信頼された認証局」が「正しい運用」で証明書を発行することにより
信頼が成立する

3-2.1-ザ アカウントの考慮すべき点とは

- 一般的には、インターネット上の商取引において、ユーザーアカウント（ユーザ名/パスワード）で認証する場合が多い。
- 「流通BMS」は、セキュリティの観点から、より高度な電子証明書（クライアント証明書）が利用できる環境を用意している。

【IT身分証明書＝電子証明書】



【電子証明書の適用例】

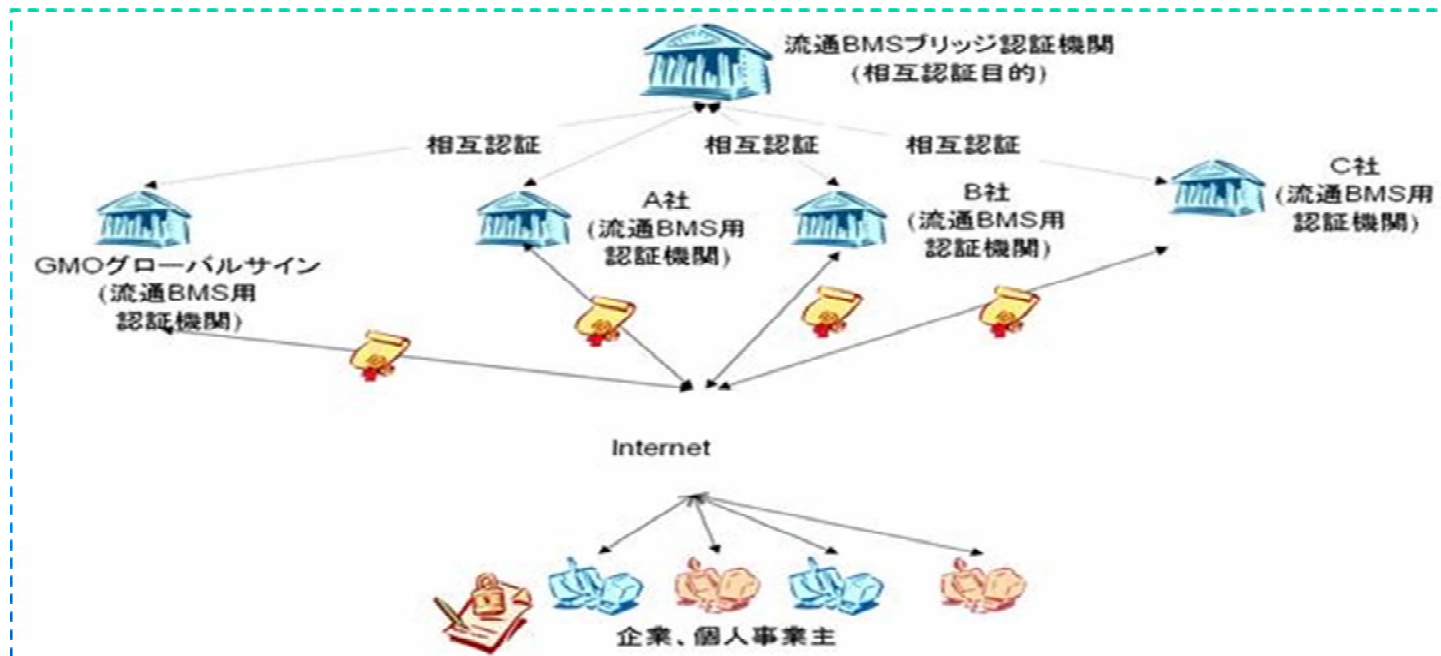
	適用
認証	OSへのログイン
	アプリケーションへのログイン
	Webサイト(サービスサイト)へのログイン
	エクストラネットの相手認証
電子署名	電子メールへの電子署名
	契約データへの電子署名
	注文データへの電子署名
	原本データへの電子署名
暗号	Webサイト接続時のデータ暗号化
	個人情報を暗号化
	決済データを暗号化して送信
	機密データの暗号化

3-3.1-ザ アカウントの比較

認証方式	ID/パスワード	電子証明書
技術強度	弱い	強い
本人確認	覚えること	所有
情報管理	サーバ	本人
管理負荷	高	低
認証の強度・強化	不可	可
その他の機能	なし	電子署名、暗号化など

4. 今後「流通BMS」に期待したい事

- 「流通BMS」に参加する認証局同士がルートCA（ブリッジCA）を通じて相互認証。
- 「真正性」のため、すなわち「原本性保証」のためタイムスタンプの付与。



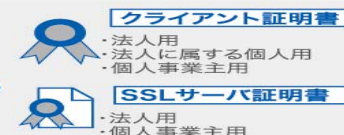
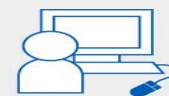
最後に、 GMOグローバルサイン の商材紹介



全世界で
2,000万枚の発行実績。
1996年から。

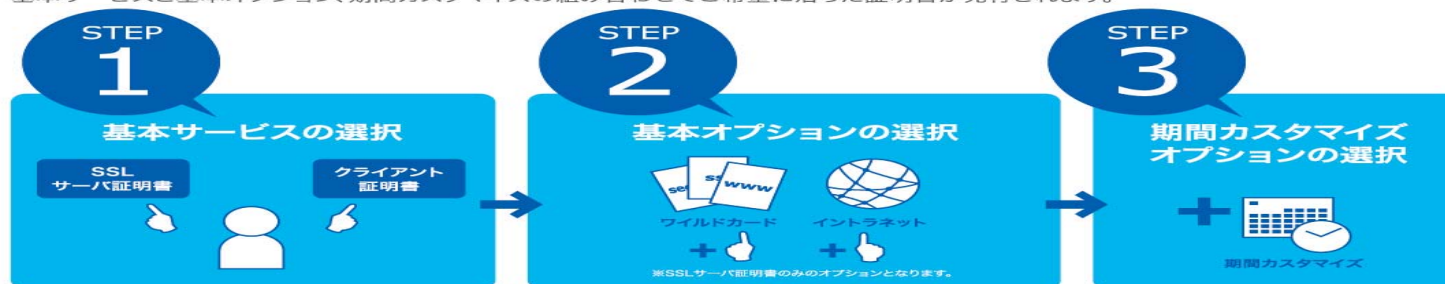


グローバルサインのEDI(流通BMS)対応電子証明書サービス



お申し込み手順

基本サービスと基本オプション、期間カスタマイズの組み合わせでご希望に沿った証明書が発行されます。



EDI(流通BMS)対応証明書サービス価格

SSLサーバ証明書 for EDI (税込)

	法人用 個人事業主用
契約期間	価格(税込)
1年	¥39,900
2年	¥59,850
3年	¥79,380

クライアント証明書 for EDI (税込)

	法人用 法人に属する個人用 個人事業主用
契約期間	価格(税込)
1年	¥6,300
2年	¥8,820
3年	¥10,500

基本オプション価格(税込)

	ワイルドカード	イン트라ネット
1年	¥98,700	¥5,250
2年	¥189,000	¥9,450
3年	¥275,100	¥13,650

期間カスタマイズオプション価格

期間カスタマイズ
¥5,250 (年額・税込)

ワイルドカード

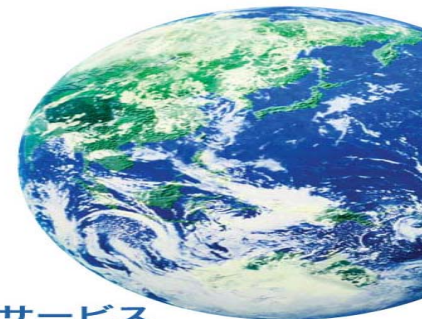
ワイルドカードオプションでは、1つのサーバ、1つのドメインで収容されるコンテンツ全てのSSL暗号化通信を実現いたします。

イン트라ネット

コモンネームだけでなくホスト名やコンピュータ名にも対応可能です。



グローバルサインは、SSLによる暗号化技術と
第三者認証サービスにおけるリーディングカンパニーです。
グローバルサインはSSLサーバ証明書発行機関として
10年以上の経験を持つ信頼の第三者認証局です。



グローバルサインEDI(流通BMS)対応電子証明書サービス

発行対象	SSLサーバ証明書 法人、個人事業主	クライアント証明書 法人、法人に属する個人 個人事業主
利用用途	サーバ認証、暗号化 クライアント認証 メッセージ署名	クライアント認証 メッセージ署名
7日間返金保証	○	○
無償再発行	○	○
お客様専用管理画面(GS/パネル)	○	○
2WAY※1	○	—
期間カスタマイズオプション	○	○
ワイルドカードオプション※2	○	—
イントラネットオプション※2	○	—
乗り換えボーナス※3※4	○	○
更新ボーナス※4	○	○
契約期間※4	1年、2年、3年	
複数年割引	○	○
支払方法	銀行振込(三菱東京UFJ銀行)またはクレジットカード (VISA / MASTER / JCB / DC)	

※1 www.+ドメイン名でお申し込みの場合、ドメイン名のみでも接続可能です。www.+サブドメインには対応していません。
※2 「期間カスタマイズ」を除き、他のオプションとの併用はできません。
※3 お申し込みのお手続きの際に「乗り換え」をご選択ください。
他社でご利用中のサーバ証明書と完全に同一のFQDNである必要があります。
審査開始時に他社証明書の有効期限が残っている必要があります。
※4 証明書は、最長で3年2ヶ月となるため、ボーナス期間をすべて反映できないことがあります。

会社概要

設立 2003年4月
資本金 3億5,664万円
役員 代表取締役社長 中條 一郎 取締役 田中 裕之
取締役 武信 浩史 取締役 関野 倫有
取締役 青山 満 取締役 藤田 智秀
事業内容 公開暗号技術を使用した、インターネットにおける情報セキュリティと個人や企業・組織の認証サービス提供

GMOグローバルサイン株式会社

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスタワー7F
TEL 03-6415-3277(代表) 03-5728-1551(お問い合わせ専用)
FAX 03-5728-1552 info@globalsign.co.jp

<http://jp.globalsign.com/>





ウェブサイト <http://jp.globalsign.com/>

eメール info@globalsign.co.jp

TEL **03-5728-1551** (月曜～金曜、10:00～18:00)

担当 法人営業部